

小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第3号 R4年9月
編集：SSH推進委員会
発行責任者：垣地 正樹

課題探究Ⅰ 校外学習 ～ものづくりの現場を知る～

「課題探究Ⅰ 校外学習」では、理数科1年生が県内の企業（製造業）を訪問し、製造工程についての講義を受けたり体験してみたりすることで、ものづくりの現場についての理解を深めます。今年は8月4日（木）に石川樹脂工業株式会社と株式会社ヤマト醤油味噌にご協力いただいて実施しました。

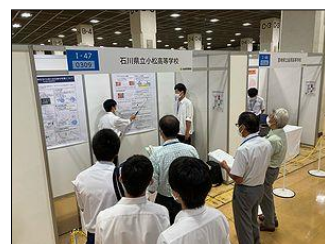
まず午前には石川樹脂工業株式会社を訪問しました。工場で透明度の高い樹脂製グラスや食器などが作られる過程を見学した後、製造工程についての講義を受け現場体験をさせていただきました。生徒たちは熟練の職人の皆さんの技に驚くとともに、コンピュータ化が進んだ現場で、品質の高い均一な製品が、速く安全に大量にできあがる様子に感銘を受けていました。

午後は株式会社ヤマト醤油味噌に訪問する予定でしたが、線状降水帯発生による集中豪雨のためにやむを得ず中止となってしまいました。大変残念でしたが、機会があれば訪問したいと考えております。



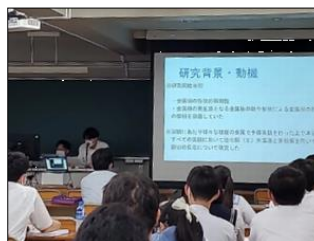
全国SSH生徒研究発表会（神戸）

8月3日（水）、4日（木）に神戸国際展示場において、全国SSH生徒研究発表会が徹底した新型コロナウイルス感染予防対策のもとで開催されました。すべてのSSH指定校の代表が集まり、課題研究のポスター発表を行いました。本校からは理数科の3年生2名が参加し、「瓶から液体を注ぐときに出る音の性質について（物理・工学分野）」というテーマでポスター発表を行いました。



全国総合文化祭（とうきょう総文2022）

8月2日（火）～4日（木）に東京富士大学にて全国総合文化祭（とうきょう総文2022）自然科学部門が開催されました。本校から理数科の3年生5名（化学3名、物理2名）が石川県代表として参加し研究発表を行いました。化学班は「平面展開による銅樹の成長過程における経時変化（白化・緑化）」の口頭発表を行いました。物理班は「瓶から液体を注ぐときに出る音の性質について」のポスター発表を行いました。また、4日（木）には生徒交流会が行われ、全国の生徒たちと交流することができました。



地学野外実習

8月18日(木)に、1年理数科の理数地学選択者9名と理数生物選択者からの希望者6名で地学野外実習を行いました。今年も熱中症対策に加えて新型コロナウイルス感染防止対策もしっかり行いながら実施しました。

まず、金沢市大桑町犀川上流貝殻橋へ行き大桑層と犀川層の境界付近の地層観察を行いました。次に貝殻橋付近の河川敷で大桑層中部貝化石密集層と大桑層下部貝化石密集層での化石採取を行う予定でしたが、前日までの大雨で川が増水していて河川敷での作業が危険だったため、予定を変更して石川県立自然史資料館で研修を行いました。その後、能美市和気町の加賀産業道路沿いの和気の里に行き、約2000万年～1700万年前の新生代の火山活動からできた火山岩である巨大流紋岩の観察を行いました。



高校生と究める探究教室

SSH探究活動の普及の一環として、理数科1年生の有志が近隣の中学校を訪問し「高校生と究める探究教室」を開催しました。

7月15日(金)には加賀市立山代中学校で、7月29日(金)には白山市立美川中学校で、8月1日(月)の午前には小松市立中海中学校で、午後には小松市立松東みどり学園で、中学生と一緒に実験を行いながら、実験器具製作のお手伝いや進め方のアドバイスなどを行いました。参加した生徒からは「中学生の発想が柔軟で一緒に実験して楽しかったし勉強になった」という声が聞かれ、大変充実した時間となりました。



山代中学校



美川中学校



中海中学校



松東みどり学園

金沢大学「理学の広場」

8月8日(月)金沢大学において「理学の広場」が開催され、理数科1年生が、数学・物理・化学・生物・計算情報の5分野で行われたセミナーに参加しました。生徒からは、「高度で複雑な内容だったが、大学に進学してからの学びをイメージすることができた」「他校の生徒たちとも話し合いながら学ぶことができ、興味を持って臨むことができた」という声が聞かれました。

